

日本計量新報

計測と科学
毎週日曜日発行
日本計量新報社

東京都江東区亀戸7丁目62-16
〒136-0071 TEL 03-5628-7070
FAX 03-5628-7071

http://www.keiryu-keisoku.co.jp/

振替口座 00140-5-12935
購読料年間 25,000円(消費税別)

定量計量専用機

Pack NAVI

速くハカル、
楽にツメル



Yamato

大和製衡株式会社 tel:078-918-6577
http://www.yamato-scale.co.jp/

第18回全国計量士大会開催

2月28日、ホテルインターコンチネンタル東京ベイで
「新しい計量制度への取り組みの状況と課題Ⅱ」テーマに

日本計量振興協会(日計振)は「第18回全国計量士大会」を、2月28日、東京都港区のホテルインターコンチネンタル東京ベイで、約1000名の参加で開催した。今回のメインテーマは「新しい計量制度への取り組みの状況と課題Ⅱ」。計量管理推進に関連する2つの発表があった。新型コロナウイルスの蔓延を考慮して懇親会は中止した。

最新情報の提供と情報交換の場として18回目

大会テーマは、「新しい計量制度への取り組みの状況と課題Ⅱ」。計量士が計量現場において、計量法政省令改正への対応を進めるなか、計量システムが非自動化を問わず、日々、



全国計量士大会の様子

遭遇する実務の課題を長年の経験を通じて、常に改善しながら業務に携わっていること等について食品製造企業2社が発表した。その後、参加者との意見交換を実施した。

意見交換で得られた成果は、関係機関等へ力強くアピールする等、将来に向け、計量士を取り巻く諸課題の解決につなげていくため、一緒に考えていく。

最新情報の提供と情報交換の場
全国計量士大会は、同協会が主催する。計量制度の変化や技術革新に関する最新情報を提供することも、参加者相互の情報交換の場として、

日計振計量士部会委員。阿知波氏は、新型コロナウイルスが感染拡大している折であることから大会を開催するべきかどうか日計振としても検討し

総合同会は、白鳥慎治氏が開会の辞を述べた。阿知波氏は、新型コロナウイルスが感染拡大している折であることから大会を開催するべきかどうか日計振としても検討し

鍋島氏は、2020年5月完成予定の、計量士国家試験受験者向け計量管理新教材の作成や計量士向け自動捕捉式はかりの計量管理実機研修会、指定検定機関の計量士養成コース一検定を実施する計量士を養成する技術講習会など、日計振が実施している事業を簡潔に説明した。

河住氏は、2020年5月完成予定の、計量士国家試験受験者向け計量管理新教材の作成や計量士向け自動捕捉式はかりの計量管理実機研修会、指定検定機関の計量士養成コース一検定を実施する計量士を養成する技術講習会など、日計振が実施している事業を簡潔に説明した。

河住氏は、2020年5月完成予定の、計量士国家試験受験者向け計量管理新教材の作成や計量士向け自動捕捉式はかりの計量管理実機研修会、指定検定機関の計量士養成コース一検定を実施する計量士を養成する技術講習会など、日計振が実施している事業を簡潔に説明した。

河住氏は、2020年5月完成予定の、計量士国家試験受験者向け計量管理新教材の作成や計量士向け自動捕捉式はかりの計量管理実機研修会、指定検定機関の計量士養成コース一検定を実施する計量士を養成する技術講習会など、日計振が実施している事業を簡潔に説明した。



たが、計量士を取り巻く課題は山積しており、その検討のためにどうして開催したいということから開催することになったと経緯を述べ、ただ懇親会を中止することを案

内した。鍋島孝敏日本計量振興協会会長が主催者あいさつ

鍋島孝敏日本計量振興協会会長が主催者あいさつ

鍋島氏はあいさつで、政府から全国の小中学校の一斉休校の要請等もあり、事態の重大さから中止も考えたが、現在の計

止も考えたが、現在の計

止も考えたが、現在の計

止も考えたが、現在の計

止も考えたが、現在の計

TANITA デジタルスケール (TL-280)
見やすいディスプレイ付 大型表示
¥33,000(税抜)

3279・3280
号を合併号とし、3月15日付で発行します。

量士を巡る課題が重要であることから、検討のうえ開催することに決めたことを報告し、参加の皆様へ感謝を述べた。また、くれぐれも体調管理には注意して欲しいと要請した。

今回は現場の計量士から2題の事例報告があり、出席の皆様にとって大いに参考になるので、よく検討して欲しいと、積極的な参加を要請した。

日計振の計量士関係事業の取り組み
状況報告として、河住春樹日計振専務理事が「一般社団法人日本計量振興協会の計量士関係事業の取り組み状況」を説明した。

河住氏は、2020年5月完成予定の、計量士国家試験受験者向け計量管理新教材の作成や計量士向け自動捕捉式はかりの計量管理実機研修会、指定検定機関の計量士養成コース一検定を実施する計量士を養成する技術講習会など、日計振が実施している事業を簡潔に説明した。

河住氏は、2020年5月完成予定の、計量士国家試験受験者向け計量管理新教材の作成や計量士向け自動捕捉式はかりの計量管理実機研修会、指定検定機関の計量士養成コース一検定を実施する計量士を養成する技術講習会など、日計振が実施している事業を簡潔に説明した。

河住氏は、2020年5月完成予定の、計量士国家試験受験者向け計量管理新教材の作成や計量士向け自動捕捉式はかりの計量管理実機研修会、指定検定機関の計量士養成コース一検定を実施する計量士を養成する技術講習会など、日計振が実施している事業を簡潔に説明した。

今週の主な記事

- ① 第18回全国計量士大会、オール流量計認証取得
- ② 計量計測関連企業20年3月期第3四半期決算
- ③ NMS研究会座談会(6)
- ④ MTR法の起源(6)
- ⑤ 田中館愛橋とその時代(13)その12、13
- ⑥ 新年会(滋賀県)、セミナー中止延期情報
- ⑦ 社説「健康経営優良法人認定、セキュリティ保護活動」
- ⑧ 第15回NMIJ国際計量標準シンポジウム開催
- ⑨ ⑩ ⑪ ⑫

私たちイシダグループは、
世界中のお客様の課題を
革新的に解決し、
安全・安心で豊かな社会の
創造に貢献します。

はかりしれない技術を、世界へ。

ISHIDA

株式会社イシダ www.ishida.co.jp
本社 京都市左京区聖護院山王町44 〒606-8392 TEL 075-771-4141

